

第3分科会：子どもの教育・子どもの貧困

テーマ **It Takes a Village. “村じゅう みんなで”**

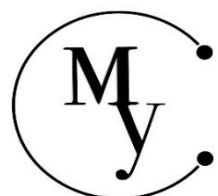
副題 ～よそのボコも うちのボコ おらが村をこせえるじゃん～
内容

子どもを取り巻く環境は、少子高齢化・子どもの貧困・いじめ・自己肯定感の低さなど様々な問題の解決の提案や実践事例から「子どもが真ん中のまちづくり」をテーマに私たち一人ひとりにどんなことができるか考える。

第三分科会メンバー紹介



学習支援・社会的処方



多様性を考える
ワークショップ等



大学生による
学習支援



多文化共生 地球市民育成 学童保育



子育て支援センター・子ども食堂

第3分科会：子どもの教育・子どもの貧困

第1部

荒牧重人氏、津富宏氏から課題等の提案

- 子どもの権利から見る これからのまちづくり
- 困りごとから始める 子どもが真ん中のまちづくり



荒牧 重人
山梨学院大学法学部教授



津富 宏
静岡県立大学国際関係学部教授

第2部

「子どもが真ん中のまちづくり」

- 3人の大学生の実践発表
- 講師からのアドバイス
- “私たち一人ひとりにできることは何なのか？”を考える。



第三分科会メンバー
Public houseモモにて

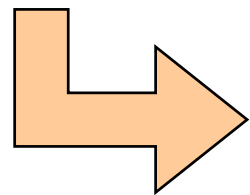


第3分科会：子どもの教育・子どもの貧困



分科会のこれまでの取組み

- 分科会運営メンバーで意見交換)
- 分科会運営メンバーの活動を視察・調査



課題

「子どもがいきいきとする こどもが真ん中のまちづくり」

- みんなで語れる「カタリバ(場所)」が欲しい。
- 「多様な人材」を知らない。出会えない。
- たくさんの人的資源・社会資源を把握し、適切につなぐ
「コーディネーター」が欲しい。
- 活動する場所、アドバイザーが欲しい
- 交流や意見交換会・情報交換会、研修の機会が欲しい

第3分科会：子どもの教育・子どもの貧困

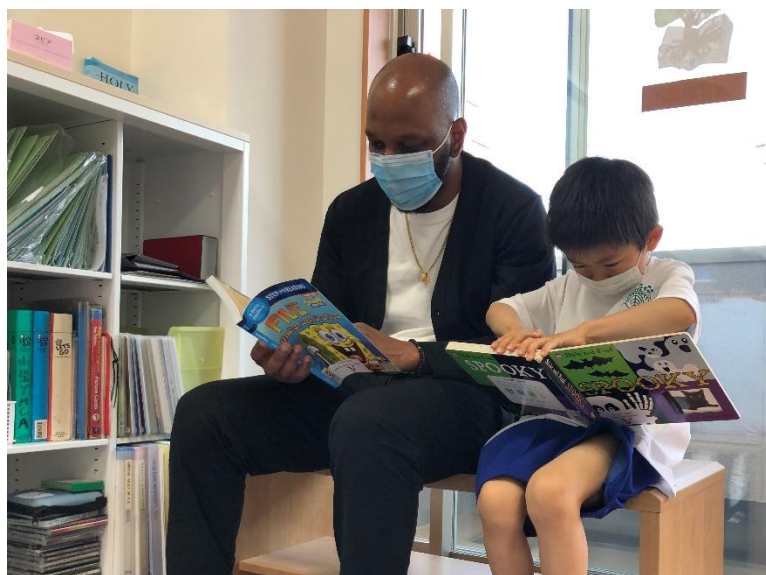
取組み方針 子どもが真ん中のまちづくりのために・・・

○「カタリバ(語り場)」の創出

○「応援団ネットワーク(人的資源)」の創出

○「リンクワーカー」の創出

○「プラットフォーム」の設置



カタリバの創出

静かに寄り添う 静かなカタリバ



応援団ネットワークの創出

DIY好きな大学生に群がるキッズたち



リンクワーカーの創出

人と人をつなぐ名人！

第3分科会：子どもの教育・子どもの貧困

未来の目指す姿

多様なカタチの・・・

柔らかく

温かい

オープンな

子どもの居場所

があふれるまち

甲府



プラットフォームの創出
青空の下が ぼくらの居場所♪



プラットフォームの設置
地域の空き家をDIYした 子どもの居場所